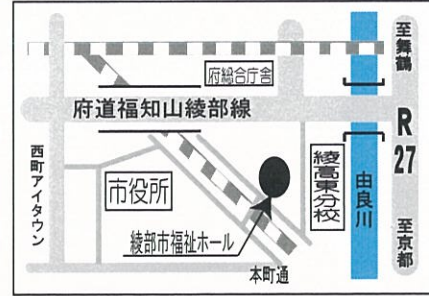


# あやべの杜協



編集発行/社会福祉法人綾部市社会福祉協議会 綾部市川糸町南古屋敷5-1綾部市福祉ホール内 TEL (43) 2881 FAX (43) 2882



中和会の発足は35年で、現在の会長が5代目となります。「会員相互の親睦を図り、健康で豊かな生きがいのある人生作りを目的とする」との会則に沿って会員が努力しています。現在の会員は、30名で男性14名、女性16名、年齢構成は、69歳～98歳となっています。90代3名現役で、高齢者が自治会の負担にならないように団結して助け合える中和会にしようと頑張っております。

毎月の食事会を実施し、少しのお酒が入りテンションが上がり賑やかに歌を唄い、折り紙を折ったり、手芸で置物を作ったり雑談をしております。最近外部より出演者を招き、ハーモニカ・オルガン・オカリナ・ハンドベル・三線などの演奏を聴き、合わせて歌を唄い、また2月には

**中和会**  
 発足 平成13年4月  
 会場 中ノ町公会堂  
 スタッフ 6名  
 活動日 月1回  
 連絡先 田中康之(42-1549)

社会福祉協議会のご協力によりくつろぎ移動足湯をお世話になり、身体も心も温まり喜ばれています。1月新年会・5月小旅行・7月七夕さん・8月納涼祭・11月自治会主催敬老会・12月忘年会等の行事を行い、大変に好評です。皆、楽しみに待っておられ、現在6名のスタッフで企画していますが、勇気づけられています。小旅行は遠いところでは徳島県の人形浄瑠璃、近くでは夜久野町でお饅頭作りなどを行い、親睦を深めています。「今度はいつ?」「楽しかった、来て良かった、次も来たい」と声がかかります。今後新会員を増やして地域の皆様とつながり、安心して過ごしていける会になることを心から望んで頑張りたいと思います。

# 認知症を理解し、地域で支える 特別講演会

たけうち ゆたか  
 竹内 裕さん

広島県広島市出身。営業一筋で役員として働いてきたが、57歳頃から職場や取引先でトラブルが続き、勤務先の社長に受診を勧められる。

59歳で前頭葉側頭葉認知症との診断を受ける。その後ボランティア活動や生活生涯講座など多忙な日々を送っている。



こすが  
 小菅もと子さん

愛知県豊明市在住。一男一女の母。パート勤めの傍ら、認知症の義母の介護に携わる。平成9年、義母の初個展を開く。平成10年『忘れても、しあわせ』(日本評論社)出版。平成14年、松井久子監督により『折り梅』として映画化される。講演活動を通じて、認知症の啓発に努める。



## 対談 「私の想いを聴いて」

竹内 裕さんが59歳で認知症と診断されたときの心情や周囲の反応、また、その後の日常生活におけるエピソードや講演活動などをされる中で感じておられることを、映画「折り梅」の原作者でもある小菅もと子さんとの対談でお話しいたします。どんな配慮があれば普通に生活できるのか、軽度認知症の人や家族にも生きていく勇気とヒントが見つかることを期待しています。

とき 平成30年12月8日 土

10:00~11:30 (開場9時30分)

ところ 綾部市I・Tビル

対象

認知症サポーター、シルバーサポーター、ゴールドサポーター、医療介護福祉関係者、その他関心のある市民

参加無料

定員 150名

(事前申込必要)

■主催 社会福祉法人綾部市社会福祉協議会

■共催 健生ネットワーク京都  
 (健康生きがいづくりアドバイザー京都協議会)

■後援 綾部市、京都府中丹東保健所(予定)

■申込、お問合せ

623-0012 京都府綾部市川糸町南古屋敷5-1  
 社会福祉法人綾部市社会福祉協議会地域福祉係  
 電話 0773-43-2881 FAX 0773-43-2882  
 メール keibora@ayabe-shakyo.or.jp



## 募集

### 就学前児童の療育機関等への通所を助成します

#### 募集概要

- 対象者** 綾部市在住で、就学前児童が療育機関へ通所したその保護者(年間所得税納付額が300,000円を超える世帯は対象外となります)  
※平成30年4月入学の児童であっても、平成30年1月～3月分(就学前)の通所費は申請対象となります。
- 助成額** 助成額は、平成30年1月～平成30年12月までの通所にかかった通所費に基づき、保護者世帯の所得状況から算出し支給します。(助成上限額50,000円)
- 申込方法** 申請用紙に必要事項を記入のうえ、保護者世帯分の平成29年度源泉徴収票又は確定申告書の控え(コピー)を添付し、綾部市社会福祉協議会事務局まで提出してください。※非課税世帯の場合は非課税証明書の写しを添付してください。
- 申込期限** 平成31年1月11日(金)必着

## 第67回京都府社会福祉大会

平成30年9月7日(金)に京都テルサ(京都市南区)において第67回目となる京都府社会福祉大会が開催され、綾部市からは次のみなさまが受賞されました。おめでとうございます。



<b>京都府 知事表彰</b>	多田綾子(吉美福祉会) <b>【ボランティア個人】</b> 羽室萬喜代(障害者施設および高齢者利用者への華道教授活動)	大西洋美(特別養護老人ホームいこいの村梅の木寮) 寺尾智子(認知症対応型共同生活介護いこいの村・とくらの家) 鳥飼加奈(特別養護老人ホームいこいの村梅の木寮)	<b>京都府共同募金会 会長表彰・感謝</b>
<b>【社会福祉事業従事者】</b> 記 由美(京都聴覚言語障害者福祉協会) 富田ゆう子(京都聴覚言語障害者福祉協会) 勝山洋子(京都聴覚言語障害者福祉協会) 渡辺美幸(京都聴覚言語障害者福祉協会) 吉田京子(京都聴覚言語障害者福祉協会) 阪田正子(京都聴覚言語障害者福祉協会) 眞下美弥子(京都聴覚言語障害者福祉協会) 安方久美子(綾部市社会福祉協議会) 中山幸美(綾部市社会福祉協議会)	<b>京都府社会福祉協議会 会長表彰・感謝</b>	<b>【ボランティア功労者】</b> 安国寺サロン「清子の里」(高齢者福祉施設等へ訪問し、見守りやサロン活動) 綾部市囲碁連盟(囲碁の普及発展と地域文化の向上に資すると共に会員相互の親睦を図る) てまり(市内福祉施設等へ訪問活動)	<b>感謝</b> <b>【法人・団体寄付】</b> 京セラ株式会社京都綾部工場従業員一同 綾部市役所職員一同 天理教綾部支部少年会 カラオケスタジオ トーン 京セラ株式会社社労働組合綾部支部 京都連盟ボーイスカウト綾部第2団 ガールスカウト京都府第38団 綾部市民生児童委員協議会委員一同 日東精工株式会社職員一同 京セラ株式会社京都綾部工場 (敬称略)
	<b>【社会福祉事業特別功労者】</b> 塩尻るみ子(吉美こども園) 志賀涼子(吉美こども園) 丸山佐由里(小規模多機能ふれあい) 四方源昭(特定施設ケアハウスのやま) 梅原 徹(ケアハウスウォーターヒルズ松寿) 大志万宏美(松寿苑訪問介護事業所) 高橋希美代(小規模特養あたご)	<b>【優良小地区社会福祉協議会】</b> 物部福祉の会	

## 歳末たすけあい運動スローガン

### つながりささえあうみんなの地域づくり

#### 綾部市共同募金委員会

今年も、赤い羽根共同募金運動の一環として「歳末たすけあい運動」が12月1日からはじまります。新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができよう、住民のみなさんの参加や理解を得て重点的に実施するものです。みなさまのあたたかいご協力をお願いします。

**期間**  
12月1日から12月31日



- 募金の主なつかいみち
- 地域住民の参加による在宅福祉活動の強化・開発
- 地域で福祉ニーズのある方(世帯)への支援

- スローガン: 「つながり ささえあう みんなの地域づくり」
- 期間 : 12月1日から12月31日
- 推進団体 : 綾部市共同募金委員会
- 持ちより金 : 一戸あたり400円程度
- 事務所 : 事務局を綾部市社会福祉協議会内に置く

#### 公募助成

- 福祉活動助成事業に(715,000円)

#### 綾部市社会福祉協議会への配分

- 生活困窮・被災世帯への年越し支援金等に(1,860,000円)
- 就学前の児童療育通所助成に(780,000円)
- 作業所通所者支援に(40,000円)
- 認知症・障害者等の地域でのいばしょづくりに(80,000円)
- 高齢者外出支援事業に(35,000円)
- 介護者家族支援事業に(100,000円)
- 支援団体の活動交流事業に(100,000円)
- 生活困窮者の生活サポート事業に(145,000円)

#### 事務費

- 市共同募金委員会活動費に(245,000円)



昨年は、次のような取り組みを行いました。くわしくは、「はねっと」で検索を!



歳末たすけあい運動がはじまります!!

生活・介護支援サポーター・フォローアップ研修 (9/19:精華町)



みんなの元気塾の前で記念写真

生活・介護支援サポーター(通称:ゴールド・サポーター)は、地域福祉の担い手として、一人暮らし高齢者や初期認知症の人の「いばしょ」と「出番」づくりなどに、活躍していただいています。9月19日(水)に、精華町で先駆的にたすけあい活動をすすめる「みんなの元気塾」のみなさんとの視察交流を行いました。参加者からは「他のまちの活動を直に触れることができよかった」という声が聞かれました。

RUN伴(ランとも)×京都 (10/21:綾部市内)



好天のもとグンゼスクエアで

RUN伴(ランとも)は、認知症の人にやさしい地域づくりをめざし、認知症本人や家族、支援者が一緒にタスキをつなぎ日本全国を縦断するイベントです。今年は、90名がエントリーし、高津、豊里、上林の3つのコースでタスキをつなぎました。ゴールのグンゼスクエアには認知症のイメージカラーのオレンジ色を身に着けた約300人の市民がつどい、無事のゴールをお祝いしました。山崎市長も応援に駆けつけていただきました。

生活困窮サポーター「わん★ぴーす」開講 (10/26:綾部市福祉ホール)



本人の気持ちを理解するワークショップ

「生活困窮」を理解し、「生活困窮状態」にある人や家族を支える市民サポーター『わん★ぴーす』養成講座が10月26日(金)にスタートしました。昨年に続き2回目となった講座には、11名が参加し、講義や演習を通じて、サポーターとしての心構えや基礎知識を学びます。昨年受講していただいた方も例会などを通じ、少しずつですが、「いばしょ」づくりなどに参加していただいています。

介護者家族教室

家族交流会は毎回予定しています



介護者家族教室は、介護をしている家族の方を対象に、介護のコツを学ぶとともに、介護する家族同士の交流の機会づくりとして、綾部市と綾部市社会福祉協議会、各地域包括支援センターで企画をし、毎月開催をしています。介護に悩んでいる方、もう少し上手に介護をしたいという方、ほかの人の介護体験を聞きたいという方など、ぜひお気軽にご参加ください。(参加費無料)

日程	場所	内容	講師
12月11日(火) 12時~14時	保健福祉センター (青野町)	介護に役立つ薬の話 ~ほっとひといきランチ交流会~ 参加費(ランチ代)510円 申込締切 12月4日(火)	しみん薬局 岡田留美さん
1月21日(月) 13時半~15時半	保健福祉センター (青野町)	聞いてみよう 介護とお金	社会福祉士・ファイナンシャルプランナー 石本晃一さん

(問) 綾部市高齢者支援課 (42-4262) 綾部市社会福祉協議会 (43-2881)

綾部市社会福祉協議会  
第4次「綾部市地域福祉活動計画」づくりがスタート。

<綾部市地域福祉活動計画策定委員会>



- <委員長>  
高橋秀文(綾部市民生児童委員協議会)
- <副委員長>  
高本克男(あやべボランティア総合センター)
- <委員>  
川端勇夫(綾部市自治会連合会)  
田中丈夫(綾部市老人クラブ連合会)  
田中英男(綾部市福祉推進組織連絡協議会)  
齋藤信吾(綾部市身体障害者協会)  
曾根庸行(あやべ福祉フロンティア)  
尾上優介(綾部市介護サービス事業者連絡会)  
四方裕己(綾部市介護支援専門員協議会)  
今中智子(綾部市東部地域包括支援センター)  
村上良子(綾部市中部地域包括支援センター)  
小原由美子(綾部市西部地域包括支援センター)  
四方麻美(綾部市民生児童課)  
芦谷匡哲(綾部商工会議所)  
入澤久美子(綾部市社会福祉協議会) (敬称略)

「将来、こんな福祉のまち「綾部」で暮らしたい」とそんな思いを実現するために、「第4次地域福祉活動計画」づくりがはじまりました。

第3次の綾部市地域福祉活動計画は、平成27年3月に策定され、平成27年度~平成31年度までを計画期間としてい

ます。まもなく終了の時期を迎えるため、平成32年度以降の活動計画を現計画の到達を評価したうえで、綾部市が策定する地域福祉計画との整合性を保ちながら、改めて計画づくりをすすめていくというものです。

10月23日(火)には、第1回の策定委員会が開



かれ、未来の綾部の福祉をいかにすすめるかの計画づくりがはじまりました。委員長には高橋秀文氏、副委員長には高本克男氏に決まり、平成31年度内の策定をめざし取り組みを進めます。

平成30年度成年後見セミナー

事例から学ぶ

『成年後見制度』と『権利擁護事業』

参加費  
無料



『成年後見制度』という言葉は広く普及してきました。しかし、認知症や障害などで判断能力が不十分になり成年後見制度の利用を考える時、「実際の生活の中で成年後見制度で何ができるの?」、「判断能力が低下した方が利用できる制度は他にはないの?」という声をよく聞きます。

今回は、実際に福祉専門職が支援する中で遭遇した事例を元に、判断能力が不十分な方が利用できる制度、事業について知るところを目的とするセミナーとなっております。ぜひご参加ください。

講師 京都社会福祉士会 ばあとなあ京都  
松味 喜久代 氏  
きょうと高齢者・障害者生活支援センター  
北尾 尚子 氏

とき 12/13(木) 13:30~15:30

ところ 綾部市I・Tビル(西町一丁目)

対象 福祉関係者、当事者、家族、その他関心のある方(事前申込必要)

問・申込 綾部市社会福祉協議会あやべ生活サポートセンター  
(tel.43-2881 FAX.43-2882)

# 善意の寄託

たくさんのご寄付ありがとうございます。  
みなさんから寄せられた善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(敬称略)

(平成30年9月1日～10月31日)

- 一市民 8,400円
  - 一市民 10,000円
  - 一市民 5,000円
  - 児玉繁禎(岡町) 10,000円
  - 山家地区民生児童委員協議会 使用済み切手840g
  - 鉄道OB会綾部支部 使用済み切手150g
  - 小林和子(舞鶴市) 使用済み切手11g
  - アコース(株) 使用済み切手1,900g
  - 吉美郵便局 使用済み切手175g
  - 吉美小学校 使用済み切手310g
  - 一市民 半紙、他
  - 大島町中自治会 使用済み切手50g
  - ◆一市民 シーツ
  - ◆一市民 食材×12
  - ◆一市民 介護用品等×2
  - ◆一市民 食材×4
  - ◆一市民 食材×2
  - ◆岩崎あい(中ノ町) 食材×2
  - ◆一市民 石けん
- 綾部市社会福祉協議会に ◆社協の家つどいに  
■社協の家なごみに ◎ふるさと綾部の老人を守る会

毎月開催 男性介護者のつどい Cafe

男性介護者のためのカフェを開催しています。大変ですなを共有しましょう。ホッとする時間を...

ほんのひと時 心の中を 開けましょう

日時：毎月第4火曜日 13時30分～15時  
場所：綾部市福祉ホール  
問：綾部市社会福祉協議会・中部地域包括支援センター  
電話 43-2888 FAX43-2882

**登録ヘルパー募集!!**

綾部市社会福祉協議会では、登録ヘルパーを募集しています。活動日数や時間は相談に応じます。詳しくは、お問合せ下さい。

●職種登録ヘルパー  
●資格・介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級資格所持者)、介護福祉士  
●問：綾部市社会福祉協議会 (電話 43-2888)

## 地域のひろば

### 市民向け在宅医療推進講演会のお知らせ

綾部医師会等が主催し、「在宅療養」を語るうき住み慣れた地域でいつまでも「が」開催されます。奮ってご参加ください。

●とき：平成30年12月1日(土) 14時～17時

●ところ：綾部市・Tビル

●内容：「自立支援・重度化予防」とリハビリ 講師：伊藤清弘氏(岸本病院理学療法士) / 「在宅看取りでのちょっとしたいい話」

### 社会福祉協議会への寄付は税法上の優遇措置があります

社会福祉協議会への寄付金や寄付物品は、地域福祉事業をすすめる上で大きな支えになっていきます。金額の多少を問わずどうぞお気持ちをお寄せください。また社会福祉協議会への寄付金は、税法上の優遇措置があります。詳しくはお問い合わせください。

講師：角水正道氏(角水医院院長)  
問：42・4262(綾部市高齢者支援課)

### 賛助会員の紹介

10月31日受付分まで

(株)サンコード

社協の地域福祉活動を支援いただいている賛助会員のみなさまです。只今、新規会員を募集しています。(会費：年額1,000円以上)

## 元気になるエッセイ

### 元気が、まろが、

夏の終わりのころ、新名刺をつくりました。AからZまでの26のキーワードで自分を表現する「世界初」かも。しれない名刺です。筆者の場合、「A」綾部生まれ、「C」カメラ、「X」写真、「K」日本古代史、「X」半農半Xという感じになります。この10年ほど、「AtoZ」という編集手法に関心をもち、いろいろのな方にAtoZでまとめることの効用をお伝えしてきました。あるとき、若い作業療法士さんにも経験いただいたとき、「回想法にもいいのでは」と、教えていただきました。回想法とは、1960年代、米国の精神科医、ロバート・バトラー氏が提唱した心理療法です。過去の懐かし

### 回想法

思い出を振り返ったり、語り合ったり、話したりすることで脳が刺激され、認知機能が改善することも明らかになりました。

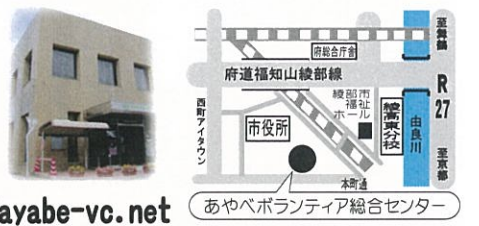
定年された上の世代の方に、AtoZで自身の人生を振り返ってみたいと思ったら、とてもよかったと言ってくださいました。今後は日本において、認知症は大きな大きなテーマです。認知症になったとき、自分のキーワードを記したメモがケアする専門家の手に渡れば、改善にすこし役に立つかもしれない。いま、AtoZを使った回想法について、あれこれ考えています。

塩見直紀 (半農半X研究所)

# あボ情報

あやべボランティア Ayabe-Volunteer information

開所時間：月～金 8:30～17:15  
http://www.ayabe-vc.net/ E-mail:office@ayabe-vc.net  
(問) あやべボランティア総合センター 綾部市本町二丁目14 TEL.40-1388 FAX.40-1389



## 雪かきボランティア登録募集

雪かき作業が困難な世帯の支援活動です。体力に自信のある方、登録をお待ちしています。

- 発信元 綾部市(市民協働課)
- 応募条件 綾部市在住・在勤の高校生以上の方で、雪かき作業ができる方
- 活動内容 市職員に同行し、道路から玄関先までの除雪作業をお願いします。
- 保険 ボランティア保険にご加入ください。(1人300円)
- 募集期間 12月3日(月)から随時募集
- 登録方法 綾部市またはあやべボランティア総合センターのホームページに掲載の登録用紙に記入して、ご連絡ください。
- 連絡先 あやべボランティア総合センター TEL 40-1388 FAX 40-1389

## 綾部季節療育ボランティア募集

冬休みに、障害のある子どもたちと遊んでくださるボランティアを募集します。一日だけでもかまいませんので、ぜひご参加ください。

- 発信元 綾部障害児を守る連絡会(綾部季節療育事業)
- 活動日・内容  
12月25日(火) クリスマス会  
12月27日(木) 散歩・ボウリング  
1月5日(土) 初詣・お正月ゲーム
- 活動時間 8時45分～16時30分
- 活動場所 綾部市ふれあいセンター(大島町)他
- 申込締切 12月11日(火)
- 申込み・問合せ  
山下 TEL/FAX 42-8236  
携帯 080-6109-1642  
大槻 携帯 090-5128-4079

## 七夕の集い

7月豪雨により延期しました

【日時】12月4日(火) 13時30分～16時  
【会場】綾部市ものづくり交流館(青野町)  
【内容】  
①オープニング 朗読：ボランティアサークル「ともしび」  
②シンポジウム ～みんなが幸せに生きる社会のために～  
③パフォーマンス～手話は言語です～ ひとり芝居：荒山拓也さん(いこいの村栗の木寮)  
④みんなで手話歌 手話サークルあやとり  
【主催】七夕の集い実行委員会  
【問合せ】TEL/FAX 21-2634 安村 090-7347-8246

## 『こころの病に関する事』について学んでみませんか?

【テーマ】働く喜びを広げよう!  
【日時】12月2日(日) 13時30分～15時30分  
【会場】保健福祉センター2階(青野町)  
【内容】第1部講演会/第2部シンポジウム  
【対象】こころの病をお持ちの方とご家族もしくはこころの病に関心のある方  
【参加費】無料(申込不要)  
【講師】京都府中丹東保健所福祉室 石原 智 精神保健相談員  
NPO 法人自立支援センターいかるがの郷 志賀 忍 施設長  
綾部市精神保健家族会(シンポジスト) 木村 勤 会長  
当事者の方(予定)(シンポジスト)  
【主催】綾部市精神保健家族会  
【問合せ】綾部市福祉課 TEL42-4254 FAX42-8953